

2021/05/06 (木)

朝の礼拝

聖書 コリントの信徒への手紙 I 3章7節 (新約聖書302頁)

ですから、大切なのは、植える者でも水を注ぐ者でもなく、成長させてくださる神です。

### 根っこ

校長室の窓の外に秘密の花園があります。去年の晩秋、冷え込みが厳しくなり、大好きなギボウシとナルコユリが枯れてしまいました。春を迎えたある朝、ふと目をやると各々が姿をあらわしました。「おお、これは奇跡だ」と感動しました。もうだめだと思っただけでしたが、実は地中で根っこは生きていました。

今、新しい草花の苗を植え、夏野菜も植え付けが終わりました。カボチャも用意できました。収穫したらホームクラブにお任せします。楽しみにしています。

実は、植え付けた後の苗は、すぐには目に見えて育ちません。茎や葉はそう簡単に伸びません。根っこが地中に張るのが先です。

私たちは種を蒔けば、芽を出し、茎を伸ばし、葉を付け、草丈が伸び、花が咲き、実を付けることで順調に育っていると考えがちです。確かに見た目がそうであれば、誰もがそう思います。しかし大事な目に見えない根っこの部分です。自分で地中の水分や養分を吸い上げ、茎から葉脈へ行き渡らせて一人前になるのです。

種を蒔く、雨が降る、太陽の光が育てるといっても、目に見えない根っこの部分、自分自身が育つのです。皆さんも思春期スパークで竹の子のように目に見えてどんどん成長します。知識も技能も飛躍的に伸びます。だからこそ皆さんの心という目に見えない根っこが大切です。あなたの心で神様の愛を吸収して、目に見える生活で互いに愛し合い、花を咲かせ、実をつけて下さい。

(しばらく黙祷しましょう)

英和女学院、英和生を愛し、励まされる主よ。

あなたは神様の愛という種を英和生の心に蒔いて下さいます。そしてあなたの恵みとみ守りのうちに根を張り、芽を出します。どうか家族、友だち、先生方が互いに慰め、励まし、愛し合って成長できますようにお導き下さい。今日一日もすべてをあなたに委ね、安全で健康な学校生活をお守り下さい。

主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン